

法人主導研究課題について

金沢大学には、法人主導(トップダウン)型研究課題という公募制度があります。これは、本学が重視する今後ますます重要となっていく研究課題に研究費を付ける制度です。文理融合の観光科学研究を推進していくこと、世界的な観光科学研究の拠点となることを期待され、採択となりました。研究課題名は「COVID-19収束後に向けたDX観光の課題と機会:リスク、持続可能性、地域性、真正性に対する観光体験の変容の解明」です。

金沢を中心としたフィールドで、センシングや移動

のリアルタイムデータなども駆使しながら分析を行い、さらには社会実験を行うことで検証・評価するというサイクルで研究を進めていく予定です。その中で、国際共同研究を貪欲に進めていきます。地域と科学の総合知で、新たな観光価値を創出するイノベーションを起こし、全ての人々が、快適、安全・安心に観光を楽しめる共存社会の実現に貢献したいと思っています。ぜひ、関係のみならずと共同研究を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします(堤敦朗)。

講演会報告

訪日メディアMATCHAの起業とインバウンド観光の可能性

2022年3月8日、株式会社MATCHA代表取締役の青木優氏を講師に招き、オンライン講演会「訪日メディアMATCHAの起業とインバウンド観光の可能性」を行います。

した。このイベントは金沢大学融合学域と共催し、観光デザイン学類の設置プレイベントとしても行われました。多言語による訪日メディアMATCHA(注1)の起業家としての青木氏の学生時代から起業に至るライフストーリーを共有いただいたことでなぜ訪日メディアを立ち上げたのか、そしてどのように影響力のあるメディアを育てたについて具体的なイメージを得ることができました。また、青木氏がアシスタントとして参画したGoogleと連携した軍艦島ストリートビューのプロジェクト(注2)などを紹介しながら、共感力の切り取りを

MARCH 8
10:30 - 12:00
ONLINE

金沢大学
先端観光科学研究センター
特別講演会
融合学域観光デザイン学類
設立プレイベント

訪日メディアMATCHAの起業
とインバウンド観光の可能性

先端観光科学研究センターは日本最大の訪日観光メディアMATCHAを創業された青木優氏をお招きし、訪日メディア事業起業の挑戦と課題、インバウンド観光の可能性についてお話しいたします。また、本講演会は4月に設立される観光デザイン学類のプレイベントです。青木氏の学生時代のエピソードやこれから観光を志す学生たち、観光人材を育てる教育機関への期待についてもお話いたします。観光や起業に関心のある学生のみなさん、ぜひご参加ください。

プロフィール
青木 優
1989年、東京生まれ。明治大学国際日本学部卒。株式会社MATCHA 代表取締役社長。内閣府クールジャパン・地域プロデューサー。学生時代に世界一周の旅をし、2012年ドーハ国際ブックフェアのプロデュース業務に従事する。デジタルエージェンシーaugment5 incに勤めた後、独立。2014年2月より訪日外国人観光客向けWEBメディア「MATCHA」の運営を開始。「MATCHA」は現在10言語、世界180ヶ国以上からアクセスがあり、様々な企業や県、自治体と連携し海外への情報発信を行っている。

申し込み
<https://reserve.be.tabisから>ご登録ください。お申込み後、zoomリンクが届きます。

FCTS The Frontier Center for Tourism Science Kanazawa University

MATCHAについて

日本最大級の訪日メディア「MATCHA」

Language: English, 日本語, 中国語, 韓国語, 台湾語, 英語, 日本語, 中国語, 韓国語, 台湾語, 英語

Copyright © MATCHA Inc.